

# 吹田市地域包括支援センター 運営関係資料

平成28年度(2016年度)第2回  
吹田市地域包括支援センター運営協議会

## 平成28年度 第2回 吹田市地域包括支援センター運営協議会 運営関係資料目次

1 介護保険特別会計における 平成27年度(2015年度) の地域支援事業決算について	
(1) 介護予防関係	1
(2) 地域包括支援センター運営関係等	2
平成27年度 地域包括支援センター収支決算書	3
(3) 平成28年度 地域包括支援センター設置状況	5
2 (参考) 地域支援事業件数等	6
3 平成28年度 (2016年度) 上半期運営状況	
(1) 総合相談支援関係	9
(2) 権利擁護業務関係	15
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	18
(4) 介護予防マネジメント・介護予防事業関係	19
(5) 要支援1, 2のケアプラン作成 (指定介護予防) 支援関係	21
(6) 認知症対策	23

1 介護保険特別会計における平成27年度(2015年度)の地域支援事業決算について

(1)介護予防関係

(款)地域支援事業費

(項)介護予防事業費

(目)介護予防高齢者施策等事業費

(単位:円)

大事業	中事業	小事業	平成26年度決算 (2014年度)	平成27年度決算 (2015年度)
人件費			15,568,315	16,695,754
介護予防事業			151,516,266	39,634,007
	通所型介護予防事業		10,648,514	10,703,091
		運動器の機能向上事業	10,115,490	10,141,048
		口腔機能向上事業	424,989	462,043
		栄養改善事業	108,035	100,000
	訪問型介護予防事業		1,220,938	1,245,634
		介護予防訪問指導事業	1,220,938	1,245,634
	一次予防事業		587,830	2,027,474
		介護予防普及啓発事業	587,830	2,027,474
	二次予防事業対象者把握事業		123,188,326	9,396,495
		生活機能評価事業	123,188,326	-
		二次予防事業対象者把握事業	-	9,396,495
	地域介護予防活動支援事業		15,870,658	16,261,313
		介護支援サポーター事業	1,950,141	2,016,287
		街かどデイハウス介護予防事業	13,920,517	14,245,026
総合事業費精算金事業			-	60,788
		計	167,084,581	56,390,549

※ 人件費については、理学療法士2名分です。

<参考>

介護予防事業の財源構成

	国	都道府県	市町村	第1号保険料	第2号保険料
平成24～26年度	25.0%	12.5%	12.5%	21.0%	29.0%
平成27～29年度	25.0%	12.5%	12.5%	22.0%	28.0%

## (2)地域包括支援センター運営関係等

(款)地域支援事業費

(項)包括的支援事業・任意事業費

(目)包括的支援事業・任意事業費

(単位:円)

大事業	中事業	小事業	平成26年度決算 (2014年度)	平成27年度決算 (2015年度)
人件費			188,351,182	190,242,405
包括的支援事業			119,012,081	123,032,537
	包括的支援事業		119,012,081	120,747,283
		包括的支援事業	1,672,581	1,537,139
		委託型地域包括支援センター事業	116,980,000	118,858,144
		地域ケア会議開催事業	359,500	352,000
	在宅医療・介護連携推進事業		-	172,727
	生活支援体制整備事業		-	253,812
	認知症施策推進事業		-	1,858,715
		認知症初期集中支援推進事業	-	144,808
		認知症地域支援・ケア向上事業	-	1,713,907
任意事業			35,425,147	35,873,560
	家族介護継続支援事業		12,256,500	12,164,061
		介護用品支給事業	6,262,500	6,168,981
		高齢者・介護家族電話相談事業	5,994,000	5,995,080
	地域自立生活支援事業		18,628,211	18,816,977
		シルバーハウジング生活援助員派遣事業	14,797,567	14,741,218
		介護相談員派遣事業	3,830,644	3,934,642
		救急医療情報キット配布事業	-	141,117
	介護給付費等費用適正化事業		1,707,536	1,748,482
		介護給付費通知事業	1,707,536	1,748,482
	成年後見制度利用支援事業		1,978,251	2,021,586
	認知症サポーター養成事業		167,986	218,288
	住宅改修支援事業		108,000	90,000
	家族介護支援事業		578,663	814,166
		徘徊高齢者SOSネットワーク事業	127,535	95,193
		徘徊高齢者家族支援サービス事業	451,128	506,876
		認知症地域サポート事業	-	212,097
		計	342,788,410	349,148,502
地域支援事業総計			509,872,991	405,539,051

※ 人件費は、保健師3名、主任介護支援専門員9名、社会福祉士9名の計21名分です。

<参考>

包括的支援事業及び任意事業の財源構成

	国	都道府県	市町村	第1号保険料
平成24～26年度	39.5%	19.75%	19.75%	21.0%
平成27～29年度	39.0%	19.50%	19.50%	22.0%

## 平成27年度 地域包括支援センター収支決算書

### 【直営型地域包括支援センター事業収支】

(単位:円)

センター名	吹一・吹六	片山+千里山東・佐井寺	南吹田+基幹型	亥の子谷	桃山台・竹見台	計	1センター当たりの平均
組織名	内本町 地域保健 福祉センター	総合福祉会館	高齢福祉室	亥の子谷 地域保健 福祉センター	千里ニュータウン 地域保健 福祉センター	-	-
センター職員数(人)	2	4	5	5	5	21	4
総人口(人)	14,800	53,845	22,939	51,003	30,294	172,881	28,814
65歳以上高齢者人口(人)	4,223	10,920	4,895	12,450	9,197	41,685	6,948
75歳以上高齢者人口(人)	2,089	4,929	2,237	4,890	5,099	19,244	3,207
高齢化率(%)	28.5%	20.3%	21.3%	24.4%	30.4%	-	-

収入	①歳入	15,786,260	35,335,921	47,357,586	46,695,569	46,604,208	191,779,544	31,963,257
	人件費分	15,704,983	35,221,083	46,345,377	46,592,220	46,378,742	190,242,405	31,707,068
	事務費分	81,277	114,838	1,012,209	103,349	225,466	1,537,139	256,190
支出内訳	②支出合計	15,786,260	35,335,921	47,357,586	46,695,569	46,604,208	191,779,544	31,963,257
	人件費分	15,704,983	35,221,083	46,345,377	46,592,220	46,378,742	190,242,405	31,707,068
	事務費分	81,277	114,838	1,012,209	103,349	225,466	1,537,139	256,190
収支①-②		0	0	0	0	0	0	0

※南吹田地域包括支援センター担当人数は、上記のとおりです。なお、高齢福祉室は基幹型として吹田市内全域のマネジメントを行うセンターとしての位置付けとなっています。

※総人口及び高齢者人口は、平成28年(2016年)3月末現在人口統計

### 参考【指定介護予防支援関係(要支援1,2の方のプラン作成)】にかかる介護報酬収支

区分	吹一・吹六	片山+千里山東・佐井寺	南吹田+基幹型	亥の子谷	桃山台・竹見台	計	1センター当たりの平均	
収入	ケアプランナー配置状況(人)	1	2	1	1	6	1	
	介護報酬額 ③	9,872,203	23,270,510	9,748,371	18,680,587	28,819,897	90,391,568	15,065,261
支出内訳	人件費(プランナー賞金、3職種プラン従事分人件費)	10,560,292	16,254,227	10,211,101	5,373,610	8,844,525	51,243,755	8,540,626
	物件費(原案作成委託料等)	6,089,164	12,881,320	12,092,994	9,649,480	19,182,022	59,894,980	9,982,497
	支出合計 ④	16,649,456	29,135,547	22,304,095	15,023,090	28,026,547	111,138,735	18,523,123
収支 ③-④		-6,777,253	-5,865,037	-12,555,724	3,657,497	793,350	-20,747,167	-3,457,861

【委託型地域包括支援センター事業委託料収支】

(単位:円)

センター名	吹三・東	岸部	豊津・江坂	千里山西	千里丘	古江台・青山台	津雲台・藤白台	計	1センター当たりの平均
法人名	社会福祉法人 燦愛会	医療法人 協和会	社会福祉法人 松柏会	社会福祉法人 寿楽福祉会	株式会社 ケア21	社会福祉法人 大阪キリスト教 女子青年福祉会	医療法人 蒼龍会	-	-
センター職員数(人)	4	3	3	4	3	4	3	24	3
総人口(人)	20,099	23,758	42,120	29,341	42,554	16,665	19,755	194,292	27,756
65歳以上高齢者人口(人)	6,039	6,311	7,045	5,676	7,575	5,399	4,906	42,951	6,136
75歳以上高齢者人口(人)	3,038	2,905	2,865	2,536	2,719	3,132	2,627	19,822	2,832
高齢化率(%)	30.0%	26.6%	16.7%	19.3%	17.8%	32.4%	24.8%	-	-

収入	①市からの委託料	16,873,714	16,873,714	16,498,714	17,922,858	16,873,714	16,873,714	16,873,714	118,790,142	16,970,020
	人件費分	13,500,000	13,500,000	13,125,000	13,500,000	13,500,000	13,500,000	13,500,000	94,125,000	13,446,429
	事務費分	3,373,714	3,373,714	3,373,714	4,422,858	3,373,714	3,373,714	3,373,714	24,665,142	3,523,592
支出内訳	②支出合計	19,611,411	17,406,060	19,185,457	20,728,416	18,655,513	17,063,104	17,773,887	130,423,848	18,631,978
	人件費分	13,611,415	13,548,771	15,474,780	16,174,287	14,844,914	13,676,551	14,278,321	101,609,039	14,515,577
	事務費分	5,999,996	3,857,289	3,710,677	4,554,129	3,810,599	3,386,553	3,495,566	28,814,809	4,116,401
収支①-②		-2,737,697	-532,346	-2,686,743	-2,805,558	-1,781,799	-189,390	-900,173	-11,633,706	-1,661,958

※センター職員の配置は、管理者及び3職種(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)を各1名配置することとしています。管理者は、3職種と兼務も可としていますので、配置人数が4人のセンターと3人のセンターがあります。

※既存の事務所で運営ができない場合に限り、事務所の賃借料を委託料に含めて支払っています。

※総人口及び高齢者人口は、平成28年(2016年)3月末現在人口統計

参考【指定介護予防支援関係(要支援1,2の方のプラン作成)】にかかる介護報酬収支

区分	吹三・東	岸部	豊津・江坂	千里山西	千里丘	古江台・青山台	津雲台・藤白台	計	1センター当たりの平均	
収入	ケアプランナー配置状況(人)	1	4	0	1	0	1	7	1	
	介護報酬額③	14,731,095	15,394,837	16,086,666	14,392,811	11,706,195	14,969,888	12,487,632	99,769,124	14,252,732
支出内訳	人件費(プランナー賞金、3職種のプラン従事分人件費)	5,776,403	4,885,898	1,200,000	1,973,214	793,253	4,561,274	3,569,580	22,759,622	3,251,375
	物件費(原案作成委託料等)	9,871,951	9,454,824	12,280,532	9,171,041	8,958,383	10,107,458	7,243,874	67,088,063	9,584,009
	支出合計④	15,648,354	14,340,722	13,480,532	11,144,255	9,751,636	14,668,732	10,813,454	89,847,685	12,835,384
収支③-④		-917,259	1,054,115	2,606,134	3,248,556	1,954,559	301,156	1,674,178	9,921,439	1,417,348

### (3)平成28年度 地域包括支援センター設置状況

平成28年(2016年)9月末現在人口

	センター名 (委託型の場合は受託法人名) (直営型の場合は所管名)	担当地域	総人口 (人)	65歳以上 高齢者人口 (人)	75歳以上 高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)
1	吹一・吹六 (内本町地域保健福祉センター)	寿町・中の島町・西御旅町・東御旅町 内本町・元町・朝日町・清和園町 南清和園町・川岸町	14,811	4,258	2,149	28.7%
2	吹三・東 (社会福祉法人燦愛会)	高浜町・南高浜町・昭和町・高城町 末広町・日の出町・川園町・吹東町 幸町・南正雀・平松町・目俵町	20,057	6,049	3,085	30.2%
3	片山 (総合福祉会館)	片山町・原町2・出口町・藤が丘町 朝日が丘町・上山手町・天道町 山手町	30,307	6,591	3,048	21.7%
4	岸部 (医療法人協和会)	原町1、3、4・岸部南・岸部中 岸部北・芝田町・岸部新町	23,679	6,341	2,987	26.8%
5	南吹田＋基幹型 (高齢福祉室)	泉町・西の庄町・金田町・南金田 南吹田・穂波町	23,094	4,899	2,279	21.2%
6	豊津・江坂 (社会福祉法人松柏会)	垂水町・江坂町1～4・豊津町 江の木町・芳野町・広芝町	42,545	7,152	2,931	16.8%
7	千里山東・佐井寺 (社会福祉法人寿楽福祉会)	千里山霧が丘・千里山星が丘 千里山虹が丘・千里山月が丘 千里山東・千里山松が丘・竹谷町 佐井寺南が丘・佐井寺・千里山高塚	24,204	4,436	2,017	18.3%
8	千里山西 (社会福祉法人寿楽福祉会)	千里山西・春日・千里山竹園・円山町 江坂町5	29,696	5,751	2,594	19.4%
9	亥の子谷 (亥の子谷地域保健福祉センター)	五月が丘西・五月が丘南・山田東1 山田西1・山田南・五月が丘東 五月が丘北	25,978	6,345	2,420	24.4%
10	山田 (社会福祉法人こぼと会)	山田東2～4、山田西2～4・山田北	24,966	6,287	2,664	25.2%
11	千里丘 (株式会社ケア21)	櫻切山・山田市場・尺谷・千里丘上 千里丘中・千里丘下・千里丘西 千里丘北・長野東・長野西・新芦屋上 新芦谷下・清水・青葉丘南・青葉丘北	43,042	7,740	2,843	18.0%
12	桃山台・竹見台 (千里ニュータウン 地域保健福祉センター)	津雲台1・桃山台・竹見台	16,579	4,960	2,717	29.9%
13	佐竹台・高野台 (社会福祉法人藍野福祉会)	佐竹台・高野台	13,910	4,284	2,493	30.8%
14	古江台・青山台 (社会福祉法人 大阪キリスト教女子青年福祉会)	古江台・青山台	16,653	5,388	3,146	32.4%
15	津雲台・藤白台 (医療法人蒼龍会)	津雲台2～7・藤白台・上山田 千里万博公園・山田丘	19,920	4,946	2,661	24.8%
合計(高齢化率は、吹田市総人口に占める65歳以上高齢者人口)			369,441	85,427	40,034	23.1%

※総人口及び高齢者人口は、平成28年(2016年)9月末現在人口統計

※網掛けは直営型センターです。

## 2 (参考)地域支援事業件数等

### (1) 介護予防事業

#### ア 二次予防事業対象者施策

##### 通所型介護予防事業

区 分	平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)	
	実施回数	延参加人数	実施回数	延参加人数
運動器の機能向上事業	637回	4,228人	640回	4,612人

区 分	平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)	
	実施回数	延参加人数	実施回数	延参加人数
口腔機能向上事業	18回	106人	18回	131人

区 分	平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)	
	実施回数	延参加人数	実施回数	延参加人数
栄養改善事業	10回	63人	10回	126人

##### 訪問型介護予防事業

区 分	平成26年度(2014年度)	平成27年度(2015年度)
閉じこもり予防、うつ予防 訪問件数	0件	0件
二次予防事業への参加 勧奨と状況把握のための訪問、 電話等の件数	1,727件	7,238件

#### イ 一次予防事業施策

##### 介護予防普及啓発事業

区 分	平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)	
	実施回数	延参加人数	実施回数	延参加人数
転倒予防・認知症予防等の講座	238回	4,312人	351回	6,258人

※ 口腔機能機能向上の講演会も含む



## 地域介護予防活動支援事業

区 分	平成26年度(2014年度)	平成27年度(2015年度)
ボランティア等の人材育成のための研修会・介護予防に資する地域活動組織の支援	656回	732回

区 分	平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)	
	講座開催数	新規登録人数	講座開催数	新規登録人数
介護支援サポーター事業	19回	42人	19回	52人

## (2) 包括的支援事業及び任意事業

### ア 包括的支援事業

区 分	平成26年度(2014年度)	平成27年度(2015年度)
介護予防ケアマネジメント業務	315件	352件
総合相談支援業務	12,445件	12,810件
権利擁護業務	1,397件	1,787件
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	2,177件	1,938件

### イ 任意事業

区 分	平成26年度(2014年度)	平成27年度(2015年度)
介護給付費通知事業	26,212件	27,363件

区 分	平成26年度(2014年度)	平成27年度(2015年度)
介護用品支給事業	1,002件	992件

※ 延べ給付券引換件数です。

区 分	平成26年度(2014年度)	平成27年度(2015年度)
高齢者・介護家族電話相談事業	225件	231件

区 分	平成26年度(2014年度)	平成27年度(2015年度)
徘徊高齢者家族支援サービス事業	329人	369人

※ 延べ利用者数です。

区 分	平成26年度(2014年度)	平成27年度(2015年度)
成年後見制度利用支援事業	16件	22件

区 分	平成26年度(2014年度)	平成27年度(2015年度)
救急医療情報キット配付事業	10,789人	12,027人

※ 延べ申請者数です。

【参考：指定介護予防支援のサービス計画策定(要支援1、2の方のプラン作成)件数】

	地域包括支援センター名 (所管名)	平成26年度(2014年度)			平成27年度(2015年度)		
		総件数(件)	うち委託件数(件)	委託率(%)	総件数(件)	うち委託件数(件)	委託率(%)
直 営 型	内本町 (内本町地域保健福祉センター)	1,972	1,099	55.7	2,081	1,323	63.6
	片山 (総合福祉会館)	2,473	1,195	48.3	2,844	1,691	59.5
	南吹田 (高齢支援課)	1,993	880	44.2	2,031	984	48.4
	千里山東・佐井寺 (総合福祉会館)	1,831	870	47.5	2,007	1,060	52.8
	山田 (亥の子谷地域保健福祉センター)	3,536	1,873	53.0	3,973	2,124	53.5
	南千里 (千里ニュータウン地域保健福祉センター)	5,298	3,373	63.7	6,035	4,172	69.1
	直営型小計	17,103	9,290	54.3	18,971	11,354	59.8
委 託 型	吹田市吹三・東	3,084	2,192	71.1	3,085	2,095	67.9
	吹田市岸部	2,966	1,904	64.2	3,266	2,032	62.2
	吹田市豊津・江坂	3,140	2,362	75.2	3,349	2,692	80.4
	吹田市千里山西	2,634	1,463	55.5	3,020	1,769	58.6
	吹田市千里丘	2,155	1,561	72.4	2,469	1,867	75.6
	吹田市津雲台・藤白台	2,409	1,407	58.4	2,539	1,501	59.1
	吹田市古江台・青山台	2,995	1,657	55.3	3,064	1,840	60.1
	委託型小計	19,383	12,546	64.7	20,792	13,796	66.4
合 計		36,486	21,836	59.8	39,763	25,150	63.2

※ サービス計画の策定件数は、介護予防請求件数です。

### 3 平成28年度（2016年度）上半期運営状況

#### （1）総合相談支援関係

##### ア 総合相談件数

全体で認知症に関する相談が大幅に増加し、権利擁護関係、介護支援専門員からの相談が増加する一方で、総合相談件数が減少していました。

地域名	包括名	総人口	高齢者人口	高齢化率	相談件数									
					権利擁護関係		介護支援専門員からの相談		総合相談		(再掲) 訪問対応		(再掲) 認知症に関する相談	
					27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度
JR以南	吹吹六一	14,811	4,258	28.7%	151	43	227	145	864	490	109	71	125	70
	東吹三	20,057	6,049	30.2%	278	48	166	113	1,353	547	334	107	191	104
片山・岸部	片山	30,307	6,591	21.7%	76	115	170	54	637	334	87	47	199	105
	岸部	23,679	6,341	26.8%	376	231	170	132	1,244	668	437	265	540	475
豊南吹・田江坂	南吹田	23,094	4,899	21.2%	38	23	98	56	597	306	58	36	142	49
	江豊坂津	42,545	7,152	16.8%	94	38	190	71	1,097	392	237	85	511	160
千里山・佐井寺	佐千井東里寺山	24,204	4,436	18.3%	20	163	87	59	548	447	48	110	90	261
	千里山西	29,696	5,751	19.4%	152	70	78	73	957	384	188	94	216	168
山田・千里丘	亥谷の子	25,978	6,345	24.4%	206	57	63	57	1,085	397	137	32	323	113
	山田	24,966	6,287	25.2%		15		23		225		36		61
	千里丘	43,042	7,740	18.0%	16	6	90	55	729	322	45	25	139	58
千里万博・阪大ニュータウン	竹桃見山台台	16,579	4,960	29.9%	50	9	273	110	1,843	580	115	27	329	98
	高佐野竹台台	13,910	4,284	30.8%		19		67		510		81		121
	青古山江台台	16,653	5,388	32.4%	221	65	168	105	854	347	219	81	362	155
	藤津白雲台台	19,920	4,946	24.8%	109	23	158	53	1,002	422	216	104	348	118
合計		369,441	85,427	23.1%	1,787	925	1,938	1,173	12,810	6,371	2,230	1,201	3,515	2,116

※ 総人口及び高齢者人口は、平成28年(2016年)9月末現在

※ H28年度は、4月～9月の実績数です。

## イ 総合相談事例

平成28年度上半期の総合相談件数は、6,371件でした。相談者は、家族や本人からの相談のほかに、近隣住民や医療機関、ケアマネジャー、関係機関等となっています。

事例①	概要 相談の	生活福祉室ケースワーカーからの相談。ここ半年ほど、幻聴や被害妄想によって、近所へ駆け込んだり、夜間に徘徊して警察に保護されるなどしており、近所に住む親族が対応に困っている。
	対応	往診医を導入後に介護保険の認定申請を行い、要介護1の認定が出たため、訪問介護と訪問看護のサービスを導入した。また、金銭管理が困難で、通帳や印鑑の紛失があったため、ケアマネジャーやヘルパーが何度も銀行へ付き添った。親族には、成年後見制度について説明し、導入を勧めた。
	結果	訪問介護と訪問看護を利用することで服薬管理ができ、夜間の睡眠もとれ、徘徊は見られなくなった。しかし、金銭的に苦しくなると被害妄想が激しくなり、包括へ頻回に来所している。成年後見制度の導入に関しては、親族の理解・協力が得られず、対応に苦慮している。
事例②	概要 相談の	同居していた友人が施設へ入所したために独居となったが、本人には認知症があり、妹へ「友人が家に帰ってこない」「お金が無い」等と頻繁に訴えるようになった。また、夏場には部屋の温度調節が出来ずに熱中症で何度も体調を崩している。このまま独居で在宅生活を続けるのは困難と思われるが、何か良い案はないかと、妹からの相談。
	対応	妹、主治医と相談して介護保険サービスを導入し、独居で在宅生活を送れる状態を整えた。また、自身では金銭管理を行うことが困難なため、妹が行う成年後見制度の申し立てを支援した。
	結果	暑い時期に何度も熱中症になったことで、妹が独居での在宅生活は困難と判断し、本人も在宅生活ではなく施設への入所を希望したことから、結局はグループホームへ入所した。
事例③	概要 相談の	独居で、不安神経症からくる心因性腹痛があり、夜間に119番へ頻回に通報しているが、救急隊が駆けつけて話を聞くうちに症状が軽快することが多い。また、ケアマネ等の他機関へも頻回に電話を行っている。消防署やケアマネから対応に苦慮しているとの相談。
	対応	消防署・ケアマネ・包括とでカンファレンスを開催して支援方針を共有。また、親族・ケアマネ・包括とで主治医訪問を行い、自宅での様子を伝え、服薬調整を依頼。また、緊急通報装置の導入を行った。
	結果	服薬調整により夜間腹痛の訴えが治まり、119番通報や各機関への頻回な電話はなくなった。
事例④	概要 相談の	民間の配食サービス事業所から、弁当の配達時に独居高齢者の身体状況が悪そうだったため必要な対応を行ってほしいとの要請。

事例④	対応	すぐに自宅を訪問するも応答無し。そのため、大家と共に居室へ入ったところ、衰弱した高齢者を発見。救急搬送を手配したが、本人は搬送されることを拒否。何とか説得し病院に搬送されたが、入院治療を拒否して自宅へ戻ったため、介護認定の新規申請、ヘルパー支援、往診医の手配等を行った。また、大家と連携して、ほぼ毎日、安否確認を行った。
	結果	ヘルパー支援、往診による点滴治療、掛かりつけの病院で受診・検査が行われて少しずつ回復。現在も在宅生活を継続することが出来ている。
事例⑤	概要 相談の	家主からの相談。生活保護を受給している独居の高齢者であるが、認知症があり、外出すると帰宅できずに何度も警察に保護されている。また、金銭管理が困難なようで、家賃を滞納している。
	対応	生活福祉課のCW、家主、ケアマネジャーらと連携し、介護保険サービスの導入、吹田市配食サービスの利用、成年後見制度の本人申立て、大阪府社会福祉協議会の社会貢献事業の利用等について支援を行った。また、民生委員、社会福祉協議会のCSWと連携し、ふれあい昼食会やふれあい喫茶の利用に繋げた。さらに、受診や預金の引き出しに同行し、必要な支援を行った。
	結果	家庭裁判所にて保佐人が選任されたため、引継を行い、支援を終了した。
事例⑥	概要 相談の	60代、独居で身寄り無し。アルツハイマー型認知症で、主治医からは、あと2年ほどで寝たきりになる可能性があると言われているが、本人には病識が無い。また、教会の牧師が親身になって支援をしているが、浪費癖があり、生活が破綻しそうになっている。
	対応	自宅を訪問して状況を確認。介護認定の申請を勧めるが、本人には拒否が見られた。介護保険の認定申請・サービス利用、服薬管理、成年後見制度の申し立て、施設入所等について、主治医、牧師、社会福祉協議会のCSW、従兄弟らと連携して支援を行った。
	結果	要介護1の認定結果を受け、サービス調整でケアマネと連携。また、本人の浪費癖は治まっておらず生活が破綻する危険があるため、包括、教会、司法書士（後見人候補者）らで、家庭裁判所の審判が下りるまでの間の金銭管理について、助言等の支援を現在も継続している。
事例⑦	概要 相談の	世話人からの相談。社員寮に住む知的障がいのある高齢者が退職するにあたり、高齢者用の住まいと財産管理人を探してほしい。これまでは周囲の人たちでサポートしてきたが、退職後は今までのように関わるのが難しい。なお、高齢者の親族は関わりを拒否している。
	対応	世話人及び高齢者本人と面談し、介護保険の認定申請を支援。また、包括から民間の施設仲介業者とリーガルサポートへ連絡し、今後の高齢者用施設探しと財産管理について支援を依頼した。

事例⑦	結果	世話人と本人とで、施設仲介業者にリストアップしてもらった施設を見学し、入居の段取りが整い次第、退職することとなった。また、司法書士の支援を受けて、本人申立てにより、成年後見制度の申し立てを行うこととなった。
事例⑧	概要 相談の	民生委員からの相談。生活保護世帯で、高齢者と精神疾患の息子との二人暮らし。食事がきちんと摂れていないようで、高齢者は痩せてきており物忘れも見られる。また、生活福祉課には家賃を滞納していると不動産業者から連絡が入っている。
	対応	生活福祉室、保健所、地域保健福祉センター等と連携し、安否確認や配食サービスの導入を行い、往診医に繋げるための訪問を続けた。難聴のために意思疎通は困難であったが、筆談で対応した。
	結果	配食サービスの導入で食事の確保が行えるようになった。また、保健所の嘱託医の往診を受け入れ、後には在宅医の往診も受け入れた。今後は介護保険サービスの利用へ繋がるよう、訪問を継続している。
事例⑨	概要 相談の	医療機関からの連絡。高齢者本人は癌の治療中で、うつ病もあり、起き上がれない状態のため、家族が代わりに受診。ここしばらくは食事が摂れておらず、独語もある状態。家族は家で見ると話すが、危機感に乏しいようで心配。
	対応	自宅を訪問。本人は床で寝ていたが、自力では起き上がれず、介助しても体に力が入らずに倒れてしまう状態。また、水分を摂るように勧めるが飲めない。そのため、救急車で緊急受診したが、特に異常は認められず、点滴を受けたのみで帰宅。しかし、その後も状態は変わらず、妄想や低栄養状態が疑われたため、家族に状況を説明し、往診医の手配や介護保険の認定申請を行った。
	結果	往診医による血液検査で異常が認められたため入院し、数日間の治療が行われ、毎日に本人の意識や身体状態が回復。食事も摂れるようになり退院された。
事例⑩	概要 相談の	80代の高齢者男性と長男との二人世帯。高齢者には認知症、聴力・視力の低下が見られる。長男は、理解力が低いようで、これまで介護や金銭管理が適切に行われておらず、度々、近隣住民にお金や食べ物を無心している。また、居宅内は床やカーペットがひどく汚れており、尿臭がしている。民生委員から社会福祉協議会を通じて相談があった。
	対応	民生委員、社会福祉協議会のCSW、高齢者の弟らと連携。介護保険の認定申請、民間の配食サービス利用等について支援し、長男と一緒に掃除を行い、住環境を整えた。また、近隣市に住む弟に金銭管理を依頼した。
	結果	必要な受診、介護保険サービスの導入により食事や入浴が適切に行われ、普通の暮らしを取り戻しつつある。また、高齢者の弟が適切に金銭管理を行ってくれており、長男は安心している。
事例⑪	概要 相談の	高齢者の夫婦世帯。病院の相談員から支援依頼があり訪問。夫に認知症状が見られたため、介護保険の認定申請について支援し、専門医への受診を勧めたが、その翌月に、近隣住民から、夫が日に何度も大声を上げて迷惑していると、苦情の連絡が入った。

事例⑪	対応	介護保険で要介護2の認定が下りたため、介護保険サービスの利用に繋がらなかったが、次女が利用を拒否。そのため、家族ら（次女、長男嫁、妻）に対して、適切な認知症への関わり方や対応方法を説明する等して介護サービスの利用について理解を求め、早急にケアマネジャーを当たった。
	結果	地域密着型のショートステイを利用することで、スタッフの適切な対応により高齢者が穏やかに過ごせることを、家族らが実感。その後、有料老人ホームへ入所した。
事例⑫	概要 相談の	ケアマネジャーからの相談。対象者は独居で、近々、マンションの建て替えにより転居予定。家の中はごみ屋敷状態で、転居に当たってはごみの処分が必要だが、本人は処分を拒否しており、包括にも関わってもらいたい。
	対応	ケアマネジャー、社会福祉協議会CSW、自治会長らと一緒に訪問して本人を説得。何とか本人の了解を得ることが出来て、処分業者の見積もり（3社分）を手配した。
	結果	無事にごみの処分が行われ、まもなく建て替え後のマンションへ転居された。
事例⑬	概要 相談の	宅配業者からの連絡。弁当代の支払いが出来ないので一緒に銀行へ行ってほしいと高齢者から依頼があり同行したが、銀行へは何をしに行くのか忘れており、様子がおかしく心配。
	対応	訪問したところ、玄関には未開封の宅配弁当が山積みになっており、家賃等の各種支払いを滞納していること等が判明。親族に援助を求めてはどうかと提案したところ頑なに拒否されるが、説得により何とか了承を得て、次女に連絡。専門医への受診と介護保険の認定申請を支援した。
	結果	介護保険で要介護の認定が下り、ヘルパー等のサービス利用を開始。また、今回のことをきっかけに親族らが話し合って協力体制を作り、金銭管理等の必要な対応を行ったことで、現在は安定した生活を送ることが出来ている。
事例⑭	概要 相談の	80代の高齢者女性と発達障害のある長男との二世帯。高齢者が脳梗塞により緊急入院した際、在宅生活時に長男が高齢者に対して「喝を入れる」と称して威嚇したり叩いていたことが判明。退院後、高齢者は長男と別居することを強く希望していると、病院から連絡があった。
	対応	退院後の生活場所について、有料老人ホーム等に関する情報提供を行った。 また、長男に退院後の生活場所を知られないように、住民票の閲覧制限申請について支援を行った。なお、長男に関しては、吹田市の障がい福祉担当者と連携し、必要な医療・福祉サービスの利用に繋がった。
	結果	退院後、高齢者はサービス付き高齢者向け住宅に入居。その地域を担当する地域包括へ引継を行った。また、長男については、自立支援医療、ヘルパー等の福祉サービスを利用して一人で在宅生活を送れている。

事例 ⑮	相談の 概要	病院の相談員からの依頼。高齢者と息子の二人暮らし。高齢者には認知機能の低下が見られ、自宅での生活状況等は不明。介護サービスの利用を含めて支援してほしい。
	対応	自宅を訪問して面談。服薬が全く出来ていない状態を確認し、病院へ報告。病院には訪問薬剤指導の手配をしていただく。また、介護保険の申請手続きを行い、要介護1の認定が出たため、担当ケマネジャーへ引継を行った。
	結果	デイサービスを週2回で利用し、楽しく過ごすことが出来ている。また、病院と連携した薬剤師が訪問して残薬を管理しており、朝食後の服薬がきちんと行えるようになった。



## (2) 権利擁護業務関係

ア 平成28年度（2016年度）上半期 権利擁護関係相談件数（新規・継続総数）

地域	包括	相談件数					
		虐待関係		消費者被害関係		成年後見関係	
		平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度
豊南津吹・田江坂	南吹田	12	17	1	0	25	6
	江豊坂津	45	37	6	0	43	1
片山・岸部	片山	49	70	0	0	27	45
	岸部	316	166	3	2	57	63
千里山・佐井寺	千里山東 佐井寺	7	59	1	9	12	95
	千里山西	132	25	6	0	14	45
JR以南	吹吹六 一	117	25	2	1	32	17
	東吹三	275	43	0	0	3	5
山田・千里丘	亥の子	130	22	1	0	75	35
	山田		14		0		1
	千里丘	8	2	0	0	8	4
千里ニュータウン 万博・阪大	竹桃見山台 台	23	1	11	1	16	7
	高佐野竹台 台		13		0		6
	青古山江台 台	156	46	1	0	64	19
	藤津白雲台 台	53	19	2	0	54	4
合計		1,323	559	34	13	430	353

平成28年度は4月から9月までの件数です。

## イ 高齢者虐待にかかる統計資料

平成28年度上半期の養護者による高齢者虐待への対応では、高齢者虐待と認定された件数は、35件である。通報経路では警察からの通報が一番多く45.3%となっており、次いでケアマネからの通報が22.6%となっている。虐待の種別では「身体的虐待」が45.0%と最も多く、次いで「心理的虐待」が36.7%となっている。被虐待高齢者の性別では、「女性」が約8割を占めている。虐待者と同居している世帯が9割を超えており、虐待者は息子が42.9%、次いで夫が34.3%と多くなっている。

通報経路〔複数回答〕		
	平成27年度	平成28年度
ケアマネ	23	12
近隣住民・知人	0	0
民生委員	0	0
本人	11	8
家族・親族	4	1
虐待者	1	0
行政職員	9	4
警察	19	24
その他	8	4
不明	1	0
計	76	53

事実確認の有無	
有	53
無	0
計	53

立入調査以外	
訪問調査	44
情報収集	9
計	53

立入調査	
警察同行	0
援助要請のみ	0
計	0

調査なし	
調査不要	0
調査検討中	0
計	0

虐待の有無（判断）		
	平成27年度	平成28年度
有	54	35
無	19	18
判断に至らず	1	0
計	74	53

虐待種別〔複数回答〕		
	平成27年度	平成28年度
身体的虐待	39	27
介護放棄	9	6
心理的虐待	27	22
性的虐待	0	2
経済的虐待	5	3
その他	0	0
計	80	60

性別		
	平成27年度	平成28年度
男	12	8
女	42	27
不明	0	0
計	54	35

年齢別		
	平成27年度	平成28年度
～64	0	0
65～69	6	4
70～74	15	11
75～79	15	7
80～84	13	8
85～89	4	3
90～	1	2
不明	0	0
計	54	35

※平成28年度については、4月～9月の件数

認定の有無		
	平成27年度	平成28年度
未申請	20	6
申請中	1	2
自立	1	6
要支援1	4	3
要支援2	5	1
要介護1	5	5
要介護2	9	4
要介護3	4	4
要介護4	2	2
要介護5	3	2
申請不明	0	0
介護度不明	0	0
計	54	35

認知自立度		
	平成27年度	平成28年度
自立	17	15
I	7	4
II	5	3
III	8	10
IV	0	0
M	0	0
自立度不明	16	2
認知有無不明	1	1
計	54	35

同居・別居	
同居	32
別居	1
その他	2
不明	0
計	35

世帯構成	
独居	2
夫婦二世帯	7
未婚の子と同居	19
既婚の子と同居	4
その他	3
不明	0
計	35

虐待者との関係〔複数回答〕		
	平成27年度	平成28年度
夫	15	12
妻	2	2
息子	23	15
娘	11	5
息子の嫁	0	1
娘の婿	0	0
兄弟姉妹	2	0
孫	0	0
その他	2	0
不明	0	0
計	55	35

分離の有無	
分離	23
非分離	12
異なる対応	0
その他	0
検討中	0
計	35

分離内訳	
サービス	10
措置	2
面会制限	0
緊急保護	0
一時入院	6
その他	5
計	23

非分離内訳〔複数回答〕	
助言・指導	10
養護者サービス	0
本人サービス	2
プラン変更	0
保険外サービス	0
その他	0
見守りのみ	0
計	12

※平成28年度については、4月～9月の件数

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ケアマネジャー懇談会の活動

地域のケアマネジャーの支援を目的とした懇談会を、地域の実情に合わせて行ってきました。学習会や情報交換、意見交流など、それぞれの地域でケアマネジャーの要望に基づいた内容で実施しています。運営はケアマネジャーの協力も得て行っています。

ケアマネジャーからの要望もあり、地域包括支援センター職員の名簿を配付し、以前配付した利用者情報提供書も含めこれらの活用を周知しました。

	年間回数	開催日	主な内容	参加人数
JR以南	4	平成 28 年 5 月 26 日	グループワーク「インテークについて」	14
		平成 28 年 8 月 18 日	訪問看護事業所との交流について	17
片山・岸部	4	平成 28 年 6 月 17 日	年間計画について	23
		平成 28 年 8 月 19 日	学習会「傾聴技法と自立支援」	19
豊津・江坂・南吹田	3	平成 28 年 6 月 17 日	介護保険外のサービスについて	20
千里山・佐井寺	6	平成 28 年 4 月 6 日	今年度の議題について	19
		平成 28 年 6 月 6 日	学習会「保健所（精神福祉）の支援について」	20
		平成 28 年 8 月 5 日	ケアマネ業務情報交流会	16
山田・千里丘	12	平成 28 年 4 月 19 日	高齢福祉サービスについて	22
		平成 28 年 5 月 17 日	学習会「小規模多機能居宅介護について」	19
		平成 28 年 6 月 21 日	総合事業について意見交流（1回目）	11
		平成 28 年 7 月 19 日	総合事業について意見交流（2回目）	15
		平成 28 年 8 月 16 日	補聴器について	7
千里ニュータウン・万博・阪大	6	平成 28 年 4 月 14 日	今年度の活動計画及び活動内容について	17
		平成 28 年 6 月 9 日	民生・児童委員の活動と連携について	14
		平成 28 年 8 月 18 日	グループワーク「みんなで考えよう！アセスメントまとめシート」	17
合計	35	-	-	270

※開催回数や時期などを含む運営方法については、地域包括職員とケアマネジャーから選出された世話人とで相談しながら各地域の実情に合わせて決定しており、年間の開催内容や懇談会の進行も世話人の協力を得ながら開催しています。

## (4) 介護予防マネジメント・介護予防事業関係

### ア 二次予防事業対象者（いきいき元気高齢者）把握事業

#### (ア) 二次予防事業対象者数

平成27年度は、75歳以上に介護予防事業アンケートを郵送し、二次予防事業対象者を決定していましたが、平成28年度は、郵送対象者を75歳から84歳としました。

	介護 予防 事業 アン ケート ①	介護 回 答 数 （ 件 ） ②	介護 予 防 事 業 ア ン ケート ①	二 次 予 防 事 業 対 象 者 数 （ 人 ）	回 答 者 に 対 す る 二 次 予 防 事 業 対 象 者 の 割 合
平成27年度	26,584	21,468	80.8%	7,238	33.7%
平成28年4月～9月	8,264	6,269	75.9%	1,857	29.6%

#### (イ) 地域別の二次予防事業対象者数

千里ニュータウン地域、山田・千里丘地域、片山・岸部地域の順に二次予防事業対象者が多い結果となっています。

	J R 以 南	片 山 岸 部	豊 津 江 坂 南 吹 田	千 里 山 ・ 佐 井 寺	山 田 ・ 千 里 丘	千 里 新 ユ ー タ ウ ン	合 計
平成27年度	958	1,117	979	787	1,316	2,081	7,238
平成28年4月～9月	242	279	251	194	368	523	1,857
	13.0%	15.0%	13.5%	10.4%	19.8%	28.2%	100.0%

単位：人

#### (ウ) 二次予防事業対象者のアンケート該当項目内訳数（重複あり）

二次予防事業対象者の半数以上が運動器の機能向上と口腔機能向上、認知症予防の項目で該当となっています。

	二 次 予 防 事 業 対 象 者	運 動 器 の 機 能 向 上	栄 養 改 善	口 腔 機 能 向 上	閉 じ こ も り 予 防	認 知 症 予 防	う つ 予 防
平成27年度	該当者数	7,238	4,474	378	4,334	1,094	3,648
平成28年 4月～9月	該当者数	1,857	1,102	93	1,165	218	929
	全体に対する 割合	100.0%	59.3%	5.0%	62.7%	11.7%	50.0%

単位：人

## イ 二次予防事業の実施結果

栄養改善事業とお口からはじまる健康教室の参加延人員は、昨年と比べて増加しています。

	はつらつ教室 (運動器の 機能向上事業)		栄養改善事業		お口からはじまる健康教室 (口腔機能の 向上事業)	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成27年度	416 (346)	5,648 (4,619)	239 (126)	239 (126)	140 (64)	305 (131)
平成28年 4月～9月	242 (209)	2,498 (2,171)	164 (62)	164 (62)	79 (74)	211 (199)

※ ( ) 内は、二次予防事業対象者の人数。

単位：人

## ウ 一次予防事業（介護予防普及啓発事業・地域介護予防活動支援事業）の実施結果

公園体操は、今年度新しく2か所の公園で開始しており、合計4か所の公園で実施しています。

	講演会・相談会・介 護予防教室の開催 (※1)		公園 体操		介護予防の自主グ ループの育成・支援 (※2)
	開催回数 (回)	延参加者数 (人)	開催回数 (回)	延参加者数 (人)	支援回数 (回)
平成27年度	275	5,306	76	952	732
平成28年4月～9月	137	2,233	71	1,126	415

※1 講演会の開催や高齢者団体等からの頼に基づき、地域に出向いて、転倒予防や認知症予防、体操などの講座を行っています。

※2 はつらつ教室OB会などに、会場の提供や運営上の相談等を行っています。

(5) 要支援1、2のケアプラン作成 (指定介護予防) 支援関係

ア 要支援認定者数、介護予防支援業務、委託作成事業所数

作成総件数については前年とほぼ変わりなく、委託作成数については増加しています。

地域	包括	要支援認定者数 (平成28年9月末)	ケアプラン作成件数								委託作成事業所数 (平成28年9月末)		
			平成27年度(3月末現在)				平成28年9月末				事業所数	最多委託担当あたり	1事業所あたり
			包括担当	委託担当※	合計	委託率	包括担当	委託担当※	合計	委託率			
JR以南	吹六	297	57	122	179	68.2%	48	129	177	72.9%	37	13	10.1%
	吹東	459	86	174	260	66.9%	78	185	263	70.3%	44	32	17.3%
片山・岸部	片山	411	88	161	249	64.7%	75	178	253	70.4%	47	23	12.9%
	岸部	451	108	174	282	61.7%	122	154	276	55.8%	37	14	9.1%
豊南吹田	南吹田	310	74	99	173	57.2%	74	130	204	63.7%	29	18	13.8%
	江坂	432	47	231	278	83.1%	37	232	269	86.2%	45	29	12.5%
佐井寺・千里山	佐井寺	282	69	107	176	60.8%	82	94	176	53.4%	38	11	11.7%
	千里山西	390	96	170	266	63.9%	92	175	267	65.5%	54	16	9.1%
山田・千里丘	亥の子谷	294	158	193	351	55.0%	98	92	190	48.4%	40	12	13.0%
	山田	311			0				171				
	千里丘	360	57	157	214	73.4%	54	162	216	75.0%	44	37	22.8%
万里ニュータウン	竹見山台	436	146	381	527	72.3%	72	193	265	72.8%	50	25	13.0%
	高野台	419			0				233				
	青山台	417	94	172	266	64.7%	73	199	272	73.2%	51	18	9.0%
	藤白雲台	346	89	126	215	58.6%	87	125	212	59.0%	47	19	15.2%
合計		5,615	1,169	2,267	3,436	66.0%	1,129	2,315	3,444	67.2%			

※委託担当：包括担当が介護保険で指定を受けている居宅介護支援事業所へ一部委託をしています。

## イ 介護予防サービス利用終了について（理由別）

利用終了理由で最も多いのは、要介護への移行で70.0%を占めています。自立により終了した割合は12.4%となっています。

地域	包括	平成27年度					平成28年4月～9月				
		利用終了理由				計	利用終了理由				計
		へ要 行の介 移護	自 立	死 亡	そ の 他 ※		へ要 行の介 移護	自 立	死 亡	そ の 他 ※	
J R 以 南	吹 吹 六 一	44	12	1	5	62	25	6	1	3	35
	東 吹 三	51	8	4	8	71	25	0	3	6	34
片 山 ・ 岸 部	片 山	55	8	5	6	74	22	6	4	5	37
	岸 部	64	9	4	6	83	34	7	4	0	45
豊 津 ・ 南 吹 田 ・ 江 坂	南 吹 田	44	8	5	3	60	14	3	4	1	22
	江 豊 坂 津	47	8	5	13	73	23	0	0	1	24
千 里 山 ・ 井 寺 ・ 佐	佐 千 井 里 寺 山	40	12	2	6	60	11	0	1	6	18
	西 千 里 山 山	30	0	8	2	40	24	4	3	8	39
山 田 ・ 千 里 丘	谷 亥 の 子	73	15	6	11	105	21	5	2	0	28
	山 田						18	1	3	0	22
	千 里 丘	39	11	6	19	75	19	6	0	1	26
千 里 ニ ユ ー ・ 阪 大 タ ウ ン	竹 桃 見 山 台 台	94	32	13	19	158	22	8	3	3	36
	高 佐 野 竹 台 台						28	2	0	1	31
	青 古 山 江 台 台	37	12	7	46	102	19	6	3	8	36
	藤 津 白 雲 台 台	45	11	5	20	81	28	5	2	8	43
計		663	146	71	164	1044	333	59	33	51	476
		63.5%	14.0%	6.8%	15.7%	100.0%	70.0%	12.4%	6.9%	10.7%	100.0%

※その他の理由は、転出、入院、施設入所等。



## (6) 認知症対策

### ア 認知症サポーター等養成事業実施状況

平成29年度までに人口の約6%（21,700人）の認知症サポーターを養成することを目標としています。  
 認知症サポーター養成講座は、地域や企業、学校等の依頼を受けて、出前講座として実施したり、高齢者と接する機会の多い団体に働きかけて、実施につなげています。

#### (ア) 認知症キャラバン・メイト数 (単位：人)

平成27年度	平成28年度 (9月末時点)
203	228

※市や大阪府等と全国キャラバン・メイト連絡協議会との共催による、認知症キャラバン・メイト養成研修を受講した後、活動登録している。他市からの異動を含む。

#### (イ) 認知症サポーター養成講座開催状況

	～平成27年度	平成27年度 (4～9月再掲)	平成28年度 (4～9月)	累計
開催回数(回)	405	30	41	446
受講者数(人)	13,928	1,436	1,170	15,098

#### (ウ) 認知症サポーター養成講座受講者数の内訳

対象	平成27年度	平成27年度 (4～9月再掲)	平成28年度 (4月～9月)
住民	913	296	496
企業・職域団体	811	593	204
介護サービス	176	85	131
学校	932	341	302
行政	370	121	37
合計	3,202	1,436	1,170

### イ 認知症サポーターへの支援

平成25年度から、年1回フォローアップ研修を開催しています。その後、活動意向のあるサポーターどうしの交流会をラコルタと共催で行い、地域での主体的な取組に発展しています。

平成27年度からは、地域の仲間づくりや認知症サポーターの活動支援を目的に、ブロック別交流会を行っています。

#### (ア) 認知症サポーターフォローアップ研修会(年1回)

	平成27年度	平成28年度
参加者数(人)	173	139

#### (イ) 認知症サポーター交流会

	平成27年度	平成28年度 (4月～9月)
開催回数(回)	14	8
参加者数(人)	111	78

ウ 高齢者支援事業者との連携による徘徊SOSネットワーク事業

高齢者支援事業者との連携による徘徊SOSネットワーク事業へ登録している協力事業者は452箇所で、昨年度より55箇所増えています。

(ア) 徘徊高齢者SOSネットワーク登録事業者数 (単位：箇所)

	平成27年9月末	平成28年9月末
介護保険事業者	178	191
郵便局	35	35
新聞販売店	19	19
電気店	18	18
介護タクシー	19	19
薬局	30	31
歯科医院	27	28
大阪府柔道整復師会	－	28
その他	71	83
合計	397	452

(イ) 徘徊SOSネットワーク事業登録者数 (単位：人)

平成27年9月末	平成28年9月末
95	133

(ウ) 徘徊SOSネットワーク事業搜索事例(単位：人)

平成27年度	平成28年度 (4月～9月)
7	1

エ 認知症地域サポート事業 (徘徊高齢者搜索模擬訓練)

平成25～26年度の2年間、認知症地域サポートモデル事業として地域の自治会等を中心に徘徊高齢者搜索模擬訓練に取り組みました。

平成27年度以降は、認知症地域サポート事業とし、地域での取組を継続しています。

	平成25年 11月10日(日)	平成26年 11月1日(土)	平成27年 11月8日(日)	平成27年 11月21日 (土)
実施地区	藤白台地区	千三地区	西山田地区	岸部地区
参加者数(人)	161	163	108	107

	平成28年度
実施地区	桃山台地区
実施予定日	平成28年 11月13日(日)